祝 五〇周年
ロータス林の わくわく通信

3月

22年3月3日発行

3月 弥生 お花見

お花見や春の行楽シーズンになりましたね。
日本には四季があって、ほんとに幸せですね。
ポカポカ、ウキウキ･ランランラン♪ってところですね。
さて、行楽シーズンを前に、お車の点検を急りなくお願いします。
最近は、セルフのガソリンスタンドが多くなったせいもあるでしょうか、「ボンネット内の点検をさせて頂いて宜しいですかぁ？」などと、「もう、ひつこいぞ！」と思うほどの、営業トークがなくなって、当社にご入庫される皆様のお車も、エンジンオイルはドロドロ、ウォッシャー液は空っぽ、タイヤはツルツル、ワイパーのゴムはちぎれちぎれのお車が増えてきたように感じます。気にはなっているものの、なかなかご自分で積極的にメンテナンスを行なう方は、極わずかです。
行楽シーズンを前に、ぜひ当社でメンテナンスをお受け下さい！！お安いパッケージをたくさんご用意させて頂いておりまぁす。お待ちしております！！

「ランチパック ピーナッツ」の焼印の謎！！

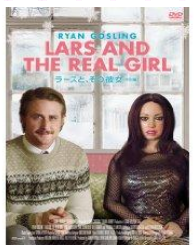
ヤマザキ

ヤマザキランチパックシリーズって、ジャムや、ハム、タマゴやツナ、最近はコロッケなどの惣菜も入って、バリエーションがますます充実して、忙しい朝にはとても重宝する一品ですよね。
いろいろある中でもほどよい甘さの定番のピーナッツにだけ、焼印が押されているのをご存知ですか？「これは一体なぜ？」
答えは、「ピーナッツに対して、食物アレルギーをお持ちの方の為」なんだそうです。
ヤマザキって、創業して六十二年で売り上げ高九千億円に成長する会社だけあって、やはり食の安全安心を徹底している会社なのでしょうね。

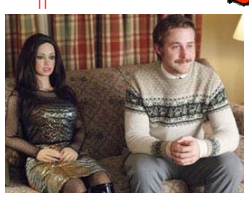
～3月 川柳～

花見酒　桜の下は　春宴
お決まりの　コースを犬と　桜道
花粉症　なのに花見は　皆出席
仕事中　睡魔が襲う　春爛漫
祝卒業　めでたくもない　未就職
思い出を　心のフィルムに　焼き付ける

なっちゃんのオススメDVD
『ラースとその彼女』
＝＝パロディー映画ではありません＝＝



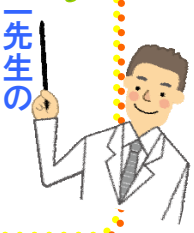
毎日地味な生活で、真面目を絵に描いたような青年ラース。彼に彼女ができないとヤキモキしていた兄夫婦に、ついにラースが「紹介したい女性がいるんだ」と、彼女を連れてきました。
ところが、ラースが連れて来た彼女は、黒髪の、等身大のリアルドールだったのです。
ラースは、彼女のことを『ビアンカ』と呼び、いたって本気で語りかけ、喧嘩もしたり、ドライブにも連れて行ったり、またパーティーに連れて行ったり、人間と同じように接します。
弟の行為を心配した兄夫婦は、医師に相談しますが、医師は「ラースの妄想に合わせるように」と言いました。町の人にも、妄想に合わせてくれるよう頼みに行く兄夫婦。ある人が、「彼は、とってもいい青年だよ。人形を恋人だと言う以外はね。」と言うんですね。
誰しも、完璧な人はいないし、おかしなところはある。精神的に病んでしまったラースを心優しく見守り、ビアンカを一人の女性として受け入れる兄夫婦や医師、教会の人々や、会社の同僚たちに、じ～～～んときてしまう一作でした。



今、パリで日本の「bento」がブーム！？

日本語が、そのまま世界に通用している言葉に『Tsunami』や、『Kaizen』、『Ninjya』などがありますが、またまた『bento』という言葉が、共通語となるかもしれません。
ここ数年、パリでジャパニーズスタイルの弁当『bento』が、流行っているらしいです。
オペラ座界隅にある日本食レストランが作っているケースが多いらしいですが、『bento』屋さんもあるらしく、デリバリーも可能なのだとか。そのうちの一つの、『もの木』の HP をのぞいて見ると、日替わり弁当は 9 ユーロ(単純に円換算すると 1,100 円、ちょっと高い)で、月曜日：豆腐ハンバーグ弁当、火曜日：サーモンの野菜あんかけ弁当、水曜日：豆と鶏肉のシチュー弁当、木曜日：サクッと美味！エビフライ弁当、金曜日：春巻きと揚げ餃子弁当･･･などなど、回数券(12 枚つづりで 100 ユーロ)も人気なのだとか。
その他のお弁当も見てみると、会議に最適のビジネス弁当や、おや？？？『眉山 VIP 弁当』なるものが･･･。私たちの町の『眉山』は海を越えて、パリでお弁当のネーミングに使われているなんて！世界は狭いですね～。
さらに、『bento』のレシピ本も売られていて、今、日本で大人気のキッシュなキャラ弁まで。
パリの人がタッパーに詰めて持ってくるのは、中身はパスタがほとんどと言いますから、タコさんウインナーとか、くるくる器用に巻いた卵焼きなど、日本人の食文化って、誇れるものがありますね。

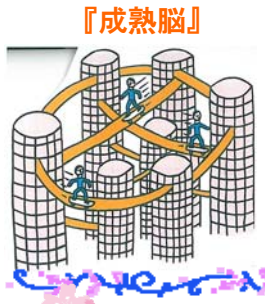
朗報でぇ～す♪
脳研究者、池谷裕二先生の『脳の不思議』



以前、SUNTORYの『美感遊創』という雑誌で、とても明るい記事を見ました。若手脳研究者の池谷先生の、目からウロコの脳科学の最先端をご紹介させて頂きまぁ～す。
先生の話では、「健康的な生活をしていれば、脳は常に変化しながら成長し続けます」ですって。嬉しいですよね。
左の表は、上が、『若い脳』、若い脳には、ムダな回路(シナプス)がたくさんあり、小さな町が裏通小道の細い回路で、ごちゃごちゃにつながっているイメージです。
下が、『成熟脳』、成熟した脳は、経験を積むことで細い回路が削られ、情報が集積された高層ビルと、情報を効率よく運ぶ幹線道路へと整備されていくイメージです。
脳はムダを省きながら、歳とともに効率化しているんだそうです。「えっ？？？脳って、退化していくのではなかったの？」。
では、なぜ「最近、忘れっぽくなった」などとヘコんでしまうのでしょう？
「『もの忘れは老化のせい』は間違い」「三十歳を過ぎてから頭は爆発的によくなる」などは、「脳は疲れない」、「もの忘れを防ぐ・記憶力を伸ばす」など多くの著書に書かれています。
今までの常識を覆す、池谷先生のユニークな発想と実証で、ものすご～く元気と希望をもらいます。
なんだか最近脳が疲れるような気がするあなた！！是非、先生の本をご覧下さい。

『若い脳』

『成熟脳』



株式会社　林自動車
〒770-0012　徳島市北佐古二番町 4-44
TEL088-631-6685　FAX088-631-5151
☆土・日・祝も元気に営業中☆
HP　http://www.lotas-hayashi.co.jp